特定非営利活動法人日本栄養改善学会　関東・甲信越支部
第 4 回　現場で活動する管理栄養士・栄養士のための実践栄養学研究セミナー
－基礎から学ぶ導入編・自分の活動をまとめる実践編－

小澤　啓子[*1、*2]、古閑　美奈子[*1、*3]、水上　由紀[*4、*5]、木村　典代[*6、*7]
[*1]関東・甲信越支部実践栄養学研究セミナー担当　[*2]女子栄養大学短期大学部
[*3]山梨学院大学　[*4]関東・甲信越支部副支部長　[*5]相模女子大学、[*6]関東・甲信越支部長　[*7]高崎健康福祉大学

関東・甲信越支部では、第 21・22 期（2023・2024 年度）の事業として、第 4 回「実践栄養学研究セミナー」を開催した。本セミナーは、「実践現場での活動をまとめる力を養い、学会発表へつなげること」を到達目標とし、「基礎から学ぶ導入編（以下、導入編）」と「自分の活動をまとめる実践編（以下、実践編）」の二部構成で実施した。第 1〜3 回セミナー参加者へのアンケート結果をもとに、内容を立案した。導入編は、実践栄養学研究に関心はあるものの、参加へのハードルを感じている会員を想定し、意義の理解と日々の活動の可視化を目指した 2 日間の集中セミナーとした。実践編は、参加者が自身のデータを用いて学会発表を行うことを目標に、少人数制の演習形式で 10 か月間かけて実施し、チューターによる継続的な支援体制を整えた。

I. 実施概要

導入編

（1）日程・内容

・オンデマンド配信（2 月 22 日〜3 月 31 日）：実践栄養学研究の意義／実践活動の意義と執筆ポイント
・3 月 16 日（土）：フレームワーク作成の講義・演習／体験談・座談会／計画書作成の講義・演習
・3 月 17 日（日）：記述統計と統計解析の基礎講義と演習／プレゼンテーションのポイント／計画書発表

（2）参加費：会員 20,000 円、非会員 30,000 円

（3）受講者：9 名（本支部会員 7 名、他支部会員 1 名、非会員 1 名：内 1 名体調不良により欠席、1 名は所用のため 1 日のみ参加）

実践編

（1）日程・内容

・オンデマンド配信（4 月 27 日〜　5 月 31 日）：実践栄養学研究の意義/実践活動報告の執筆ポイント/フレームワーク作成
・5 月 18 日（土）：フレームワーク作成と計画立案の講義・演習/倫理的配慮と COI/文献検索/計画書作成
・オンデマンド配信（7 月 8 日〜3 月 31 日）：データセットの作り方
・10 月 6 日（日）：調査報告/抄録の書き方/発表資料作成のポイント/進捗報告
・オンデマンド配信（9 月 12 日〜3 月 31 日）：記述統計と基本的な統計
・2 月 2 日（日）：研究デザインと統計解析/効果的なプレゼンの講義・ロールプレイ/抄録・スライド作成
・3 月 23 日（日）：成果発表会/意見交換/修了式

・オンデマンド配信（3 月 24 日～4 月 30 日）：成果発表会
※各回の間に、参加者ごとに担当チューター（1～3 名）とのオンライン指導を複数回実施
（2）参加費：30,000 円（導入編から継続者は 20,000 円）
（3）受講者：8 名（脱落者なし）

Ⅱ. 開催場所

女子栄養大学　駒込校舎

Ⅲ. 関係者（敬称略・五十音順）

講師：赤松利恵（お茶の水女子大学）
講師兼チューター：小澤啓子（女子栄養大学短期大学部）、神田聖子（東都大学）、古閑美奈子（山梨学院大学）、小手森綾香（麻布大学）、藤崎香帆里（相模女子大学）、吉井瑛美（長野県立大学）、渡辺優奈（千葉県立保健医療大学）
オブザーバー：水上由紀（相模女子大学）

Ⅳ. 評価

導入編（表 1）

修了者 7 名中、全員が事後アンケートに回答し、「実践栄養学研究の意義を理解できた」「自分の仕事に役立つ内容だった」と評価した。内容面では評価が高かったが、参加者が想定より少なかった背景には、開催時期や費用の課題があったと考えられる。実践編への継続参加は 3 名にとどまり、業務上のデータ共有の制約や年度末の異動懸念も影響した。今後は、オンデマンド配信や開催時期の見直しが求められる。

表1　導入編事後アンケート

実践栄養学研究の意義は理解できたか	「とても理解できた」6名、「理解できた」1名
自身の仕事に役立つ内容だったか	「とてもそう思う」6名、「どちらともいえない」1名
今後、学会発表しようと思うか	「とてもそう思う」3名、「そう思う」3名、「どちらともいえない」1名
実践編に参加しようと思うか	「とてもそう思う」3名、「そう思う」2名、「どちらともいえない」2名
その他意見	・自分の業務を振りかえることができた ・PICOやPDCAサイクルを学べたことが業務に役立つと思った ・日々の業務に関連したことなど、細かいことでも質問しやすい環境だった ・すべての講義が学びになった ・論文を読むことや学会参加をしてみたいと思った ・先生方がとても優しく、丁寧に対応してくださり感激した ・講習会の運営方法（会場設営、資料作成など）も勉強になった ・他の参加者との交流ができ、それぞれの仕事の熱意も感じて刺激になった

実践編（表 2）

8 名全員が成果発表を行い、そのうち 7 名が第 72 回学術総会に演題登録を行った。参加者全員が「満足」と回答し、セミナーやチューターの支援体制への評価が非常に高かった。対面開催によるグループダイナミクスの効果や、チューターによる継続的支援が、脱落者ゼロの要因と考えられる。講義・演習内容の理解度は総じて高く、文献検索や統計スキルの習得に関しても概ね肯定的な評価を得た。一方で、一部には「スキルが十分身についたとはいえない」との回答もあり、実践を通じた継続学習の必要性が示唆された。

Ⅴ. 今後にむけて

導入編・実践編ともに高い満足度を得た背景には、過去の開催実績をもとに PDCA を回したことがある。講

師・教材の継続的な活用や前任者の協力によって、運営負担の軽減も実現した。オンデマンド配信による事前事後学習、対面開催、オンラインによる個別支援を組み合わせた実施方法は有用だったと考える。一方で、チューターへの負担は大きく、校務・研究活動との両立が困難な状況もある。若手チューターを中心に継続的な支援体制を維持するためには、チューター経験の意義を明確にし、役割へのインセンティブや負担軽減策を検討する必要がある。また、今回のセミナーは学会発表を最終目標としたが、今後は論文化や継続的研究支援も視野に入れた体制整備が求められる。受講後のフォローアップ、大学院進学の促進などを含めた支部としての方針策定が課題である。

2 年間に及ぶ長期事業ではあったが、運営メンバー間の結束が高まり、教育・研究活動に資する情報共有の場ともなった。今回得られた成果と課題を今後の支部活動に活かし、持続可能な人材育成事業として発展させていきたい。

最後に、本セミナーにご協力いただいた講師、チューター、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

表2　実践編事後アンケート

実践活動報告の意義は理解できたか	「とても理解できた」8名
学会発表までの流れが理解できたか	「とても理解できた」6名、「理解できた」1名
倫理的配慮およびCOI（利益相反）が理解できたか	「とても理解できた」7名、「理解できた」1名
研究計画の作成について理解できたか	「とても理解できた」7名、「理解できた」1名
文献検索のスキルが身についたか	「とても身についた」4名、「身についた」3名、「どちらともいえない」1名
調査を実施するスキルが身についたか	「とても身についた」4名、「身についた」4名
データ解析のスキルが身についたか	「とても身についた」2名、「身についた」4名、「どちらともいえない」1名、「あまり身についていない」1名
抄録を作成するスキルが身についたか	「とても身についた」4名、「身についた」3名、「どちらともいえない」1名
発表スライドを作成するスキルが身についたか	「とても身についた」3名、「身についた」5名
発表するスキルが身についたか	「とても身についた」3名、「身についた」5名
実践活動をまとめるスキルが身についたか	「とても身についた」4名、「身についた」3名、「どちらともいえない」1名
セミナー全体の満足度	「満足」8名
チューターのサポートに対する満足度	「満足」8名
今後の業務（実践活動）に活かせそうか	「とてもそう思う」6名、「そう思う」2名
今後も継続的に実践活動について学会発表していきたいか	「とてもそう思う」4名、「そう思う」2名、「どちらともいえない」2名
自信がついたこと・よかったこと	・統計解析の理解があいまいだったが、今後解析する際に生かせると思う ・他の参加者や先生方から発表の仕方を褒めてもらいすごく自信がついた ・日々の業務とセミナーの課題との両立が想像以上に大変だったが大きな達成感を味わうことができた ・職場での実績報告を自信をもって提出することができた ・スライド作成に苦戦したが、先生方にわかりやすくなったと褒めていただき、考え抜けばできることがわかった ・他の参加者の努力を間近で感じたこと、発表が聞けたことがよかった
苦労したこと・大変だったこと	・やってきたことをまとめるのが大変だった ・成果発表の準備時間を確保するのが大変だった ・事業計画の検討、質問紙調査の項目設定は難しく、努力が必要だと思った ・これまで一人で行ってきたので、どのような内容、どのような時に相談してよいかわからない時があった ・業務を振り返り、集計・分析することの大切さを痛感した ・日曜日開催が多く、子どもの預け先の調整が大変だった ・現場経験が長いだけで、研究の考え方ができていないことを認識した
その他意見・感想	・初めて知ることばかりで自己嫌悪に陥ったが、学ぶこと、知ることがとても楽しかった ・教えていただいたことを忘れないように復習したいと思う ・WEB講義と対面の併用で大変勉強になった ・大変素晴らしいチューターに恵まれて有用な経験ができ、楽しく学ぶことができた ・あたたかくご指導いただき、先生方、参加者の方々に支えられて修了することができた ・期待以上に充実した講義内容で、実践活動報告にすぐに生かせると思った ・4回の開催日以外にもWEBやメールを通して、本当に手厚く確認や指導をしていただいた ・第3回セミナーにも参加したが、今回はすべて対面開催だったので嬉しかった